

学校関係者評価報告書

(令和4年度)

富山市立富山外国語専門学校

令和5年3月

富山外国語専門学校 学校関係者評価委員会は、令和4年度自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、その結果を報告いたします。

1 令和4年度 富山外国語専門学校 学校関係者評価委員会

日時 令和5年3月7日（火） 10時

場所 富山外国語専門学校

出席者 学校関係者評価委員 4名

山下 富雄	元射水市教育長、元本校非常勤講師
川端 國昭	元本校校長
清水 義彦	富山県立大学准教授、元本校講師
倉田 恭平	本校卒業生

事務局 4名

田中 万希子	富山外国語専門学校 校長
横越 純	富山外国語専門学校 事務長
白野 妙子	富山外国語専門学校 准教授
永野 はなえ	富山外国語専門学校 主査

2 基準ごとの学校関係者評価、意見

基準	点検項目	委員の評価、意見等
1 教育理念・目的・育成人材像等	【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか	○適切に定められ、進められている。 ○開学当初の理念は今なお通用するものであり、社会のニーズに対応する特色が出ている。
	【1-2】学校の特色はなにか	○教職員の間で、学校の将来構想がない、という意見が多い。従来、英語科の高校長が本校校長に就任し、学生を送ってもらう高校現場とのパイプを大事にしてきた。
	【1-3】学校の将来構想を抱いているか	○例えば、さほど経費や労力をかけずに富山大学や海外の大学などに編入学できる、などの「出口」を特色として発信すべきである。 ○小学校教員の英語研修機関としての役割を担えば良い。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
2 学校運営	【2-1】運営方針に沿った事業計画は定められているか	○適切に進められている。
	【2-2】運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	○運営組織や意思決定機能が効率的でない、との思いが教職員の間で強いようである。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
3 教育活動	【3-1】各学科の教育目標、育成人材等は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	○適切である。 ○キャリア形成の上で英語だけでは不十分であり、英語を使ってできる特技、例えばA Iなどの技術を身に付けさせることが重要である。
	【3-2】授業評価の実施・評価体制はあるか	
	【3-3】成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
4 教育効果	【4-1】就職率の向上が図られているか	○適切に進められている。
	【4-2】資格取得率の向上が図られているか	○卒業後の「出口」を明確にすることが最も大切。
	【4-3】退学率の低減が図られているか	○退学率が高い年は過去にもあった。その原因として何かハッキリ思い当たるものがあるのか。それともコロナ禍の中、どこの高等教育機関も抱える同レベルの問題なのか。前者だとしたら対応を急ぐ必要がある。
	【4-4】卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	○学校が自ら情報を発信しようとするとうい内容になりがちなので、在学生や卒業生に学校のことをSNSとりわけInstagramで発信してもらおうと若い人達に口コミで浸透していくのではないかな。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
5 学生支援	【5-1】就職・進学指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか	○積極的に進めて頂きたい。
	【5-2】学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	○小学生に対する英語指導は、やがて教員になろうかという動機付けになり得る。
	【5-3】学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	○編入学で大学に入って教員になる道程は楽でないので、しっかりした生徒を送り込むことが肝要。
	【5-4】保護者と適切に連携しているか	○学生アンケートの1番「この学校に入学して良かったと思う」のAが82%、AとBを合わせると100%。学生の本校に対する評価は非常に高い。
	【5-5】卒業生への支援体制はあるか	○SNSで卒業生と交流し、卒業生が出入りしやすい雰囲気を作ると良い。
	【5-6】留学支援や海外との連携による国際教育交流の体制があるか	○もっと国際教育交流の体制を充実すべきという先生方の意見があるようだが、その目玉とも言える海外研修旅行は今後どうしていくのか。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
6 教育環境	【6-1】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	○可能な限り改善していただきたい。 ○椅子が新しくなって良かった。
	【6-2】学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	○学校の施設・設備は将来構想と深く関わる問題である。35年経過して、施設の老朽化は否めない。 ○学生がやる気を起こすような掲示が充実していることは素晴らしい。 ○インターンシップはとても大切である。全員参加すべきであろう。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
7 学生の募集と受け入れ	【7-1】 学生募集活動は、適正に行われているか	○更に改善していただきたい。 ○卒業時に何ができるようになるか、という「出口」を明示すべきであろう。
	【7-2】 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	○とりわけ専攻科については、ここに行けばこうなる、という明確なメッセージを出すことが重要。例えば、過去数年の英検1級取得者数、TOEICの点数に加え、大学(院)進学実績などが材料になり得る。
	【7-3】 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	○生の英語に溢れた環境と安価な学費をPRする。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
8 法令等の遵守	【8-1】 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○適切である。
	【8-2】 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
9 社会貢献	【9-1】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	○積極的に行っていただきたい。 ○学生がどんどん外に出る仕掛けが欲しい。
	【9-2】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	